

札幌市議会議員 [白石区]
防災士・食育推進指導員・専門調理師（試験委員）

うるしはら直子
NAO空通信 No. 04

うるしはら直子 政務事務所
〒003-0832 札幌市白石区北郷2条2丁目2-12
TEL 011-799-1771 FAX 011-799-1715
E-mail : info@urushihara-naoko.main.jp
URL : http://urushihara-naoko.main.jp



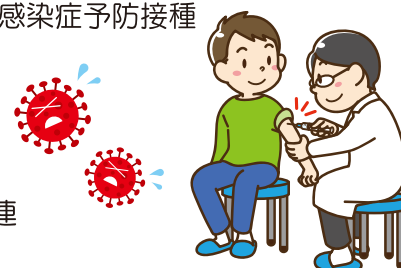
第1回定例市議会 2月17日～3月30日

一般会計では過去最大となる1兆1140億円、更に新型コロナ対策として294億円、国の経済対策に関連して125億円の補正予算が計上。市民生活の安心と未来のまちづくりにつながるよう、3つの重点のもと立てられています。



重点1 「感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり」

- 【新規】新型コロナウイルス感染症予防接種(補正95億200万円)
- 相談検査体制の確保(当初29億400万円)
- 各種施設等感染症対策関連(補正13億7,700万円)



重点2 「子どもを産み育てやすく、誰もが安心して暮らせる、やさしいまちづくり」

- 【新規】介護サービス提供体制整備促進補助(当初9億7,400万円)
- 1801人分の保育定員増(当初48億5,000万円)
- 【新規】困難を抱える若年女性支援(当初1,200万円)
- 【新規】子育てデータ管理プラットフォーム構築(補正6,000万円)
- 【拡充】仮称)第二児童相談所整備(当初2億4,200万円)



重点3 「魅力活力にあふれ、困難を乗り越えて成長を続けるまちづくり」

- 【拡充】中小企業融資関連(当初896億2,200万円)
- 緊急雇用創出事業(当初2億1,800万円)
- 生活困窮者自立支援(当初2億8,700万円)
- 【拡充】テレワーク普及促進関連(補正1億2,000万円)



ワクチン接種をめぐる

札幌市では、接種を希望される市民に、速やかに接種できるよう準備を進めていますが、国から示された65歳以上の4月の「高齢者向け接種」のワクチン供給量は、対象者数約54万人に比べてごくわずか。国から情報と具体的な接種時期順位などが定まり次第、順次お知らせいたします。

★高齢者向けワクチン接種に係る札幌市の当面の対応(3月9日時点)

- ① 4月は多床室のある高齢者施設の一部で接種を実施
- ② ①以外の高齢者の皆さまへの接種は早くも5月以降に開始
- ③ 接種券の送付は当面見合わせ

札幌市新型コロナウイルスワクチン接種お問い合わせセンター
TEL 011-351-8646

コロナ対策に全力で

コロナとの闘いから早一年が過ぎました。「集中対策期間」の延長が続きましたが、皆様の懸命な努力によりようやく解除となりました。

この間、多くの企業や飲食店、働く皆様から経営や生活への心配、要望の声をいただきました。

札幌市は北海道とも協議し時短営業や休業協力をされた飲食店に対する支援金支給と合わせて、私たちの会派として求めてきた、飲食店の取引業者への支援や収入が激減した、ひとり親家庭への支援金給付もようやく実施となりました。

本市でも変異株陽性が確認され、切り札といえるワクチン接種も、希望される市民全員に行き届くまでは時間を要するようで、まだ、しばらくはマスク着用・手洗いなど、感染対策を続けて過ごす必要がありそうです。

不安が募る毎日かと思いますが、皆様の命と生活を守り、安心して笑顔で暮らせる日常を取り戻すため、尽力してまいります。更に声をお聞かせください。一緒に取り組んでまいりましょう。



札幌市議会議員 うるしはら直子

東日本大震災から10年 ―コロナ禍の中で

3月11日で、東日本大震災から10年をむかえました。東日本一帯を襲った震度7の巨大地震の爪痕は深く、津波にのまれた町では今もかさ上げ工事が続き、放射線量が高く住めない町もあります。

決して風化させることなく、教訓として災害対策や体制を考える時だと思います。命を守る行動や家族との連絡方法、ペットの預かり先など再度確認しましょう。

今後、見直されます

- 「札幌市第3次地震被害想定」…3月末までに見直し
- 「地域防災計画」「札幌市業務継続計画」「札幌市応援者受入計画」…3年以内に改定
- リアルタイム災害情報発信ツール「札幌防災ポータル」が6月から開設予定



市政に問う！

2020年度主な質問

決算特別委員会の質問から(2020年10月)

●札幌市民防災センターのリニューアル

2022年に消火体験コーナーと煙避難体験コーナーがリニューアル!感染症対策と、より実践的で臨場感あふれる体験施設としてレベルアップします。



●(仮称)第二児童相談所の開設について

地域住民や児童などに配慮した施設建設と、専門職員の増員や弁護士常勤、里親フォスタリングについて質問。「第3次札幌市児童相談体制強化プラン」に反映されました。

新型コロナウイルス対策調査特別委員会の質問から

●区役所における感染防止について質問

窓口の混雑対策と緩和、職員の負担軽減、感染防止対策として、区役所外のマイナンバー交付所の設置と、今後、**市民が窓口に行かなくても手続きができる仕組み**が検討されます。

●保育所や学校の行事における感染防止対策について質問

高校入試と卒業式について、会場分散、複数回開催など、各学校で工夫と配慮がなされ、多くの子どもたちが保護者や教職員に見守られ巣立ちました。



予算特別委員会の質問(2021年3月)

質問の様子はインターネットからご覧下さい。
次号でお伝えします。



ご注意ください!!

最近、「警察職員を名乗る者」からの「詐欺電話」が増えています。
警察官や市の職員などがキャッシュカードの提出を求めることはありません。
「お金・通帳・キャッシュカードは渡さない」「暗証番号や個人情報教えない」を徹底して身を守りましょう!

ケアラー・ヤングケアラーを知っていますか その①

ケアラーとは介護や看病、療育が必要な家族や近親者を無償でサポートする人のこと。ヤングケアラーは18歳未満の若年層のケアラーを指します。

■ケアラーのケア対象は？

家族や知人の病気や障がいの他に、引きこもりやアルコール等の依存症など対象は広範囲。家事や力仕事、外出時の介助・付き添い、感情面のサポートをしています。

■抱える課題は？

ケアラー

主に介護離職や経済的負担、社会的な繋がりが途絶え、孤独、介護うつになるケースもあります。

ヤングケアラー

介護で学業に支障をきたし進学を断念したり、友達との交流が減り、不登校や虐待に繋がるケースもあります。

■これからどうしていけば？

実情把握の調査や周りが気づき、支援につなげるなど社会全体で取り組み、国や自治体の包括的なサポート体制が必要です。(今後も継続してお伝えしていきます)

◎札幌市では独自のヤングケアラーの調査と対策の検討に向け、子ども未来局、教育委員会、保健福祉局が連携して準備が進められています。

コロナ禍で困窮する学生に食の支援を ―ほっかいどう若者応援プロジェクト―

コロナ禍で学費や生活費に困窮する一人暮らしの学生や若者が、食費などを削りながら学業の継続や将来への不安を募らせています。連合北海道など4団体が中心となり、食の支援を行っています!

第1弾では、食材1000セットが自宅外学生・留学生に手渡されました。今後、市内・道内の各大学に支援の輪を広げる予定です。

※協賛金(寄付)等などについては下記まで。

事務局・問い合わせ先

連合北海道 電話011-210-0050

